平成 28 年度 オホーツク海外海放流ホタテガイ貝柱歩留不良予報（暫定版）

概況

本年度は大型珪藻が確認される等、春先の餌料環境は良好であり、歩留不良となる可能性は低いと予測されます。オホーツク振興局管内東部海域に関しては、5 月のデータが取得できなかったため、データを取得次第、改訂予報を発表する予定です。

海域：オホーツク振興局管内西部海域
レベル：1
短期、長期にわたり歩留不良の可能性は極めて低い。

予報期間：平成 28 年（2016 年）6～7 月（短期）
発生確率：0.00～0.04
予報期間：平成 28 年（2016 年）6～10 月（長期）
発生確率：0.00～0.04

警戒レベル	意味
1	発生確率が極めて低い
2	発生確率は短期でやや高く、注意が必要
3	発生確率が高水準であり、警戒が必要
4	発生確率は最高水準にあり、十分な警戒が必要
5	広域・長期にわたり発生確率が高く、全域で十分な警戒が必要

注：貝柱歩留不良予報は、4、5 月の 4 つの観測値、最大平均貝柱歩留、最大貝柱グリコゲン濃度、最大クロロフィル濃度、最大海水温差（最高水温－最低水温）から、6、7 月の短期と、6～10 月の長期の貝柱歩留不良を統計的確率モデルで予測しています。